

(一社)日本建設業連合会
関西支部会員

(五十音順)平成26年10月現在

- アイサワ工業(株)大阪支店
- 青木あすなろ建設(株)大阪本店
- あおみ建設(株)大阪支店
- (株)浅川組
- (株)浅沼組
- (株)新井組
- (株)安藤・間大阪支店
- 岩田地崎建設(株)大阪支店
- 大木建設(株)大阪支店
- (株)大林組大阪本店
- 大林道路(株)大阪支店
- (株)大本組大阪支店
- (株)奥村組西日本支社
- 奥村組土木興業(株)
- オリエンタル白石(株)大阪支店
- 鹿島建設(株)関西支店
- 株木建設(株)大阪支店
- (株)クボタ工建大阪支店
- (株)熊谷組関西支店
- (株)鴻池組
- 五洋建設(株)大阪支店
- 佐藤工業(株)大阪支店
- 清水建設(株)関西事業本部
- 西武建設(株)関西支店
- (株)銭高組大阪支社
- 大成建設(株)関西支店
- 大鉄工業(株)
- 大日本土木(株)大阪支店
- 大豊建設(株)大阪支店
- (株)竹中工務店大阪本店
- (株)竹中土木大阪本店
- 鉄建建設(株)大阪支店
- 東亜建設工業(株)大阪支店
- 東急建設(株)大阪支店
- 東洋建設(株)大阪支店
- 戸田建設(株)大阪支店
- 飛鳥建設(株)大阪支店
- 奈良建設(株)大阪支店
- 南海辰村建設(株)
- 西松建設(株)西日本支社関西支店
- 日特建設(株)大阪支店
- (株)NIPPO関西支店
- 日本国土開発(株)大阪支店
- (株)ノバック
- (株)ハンシン建設
- (株)ピーエス三菱大阪支店
- (株)久本組
- 深田サルベージ建設(株)大阪支店
- (株)福田組大阪支店
- (株)フジタ大阪支店
- (株)不動テトラ大阪本店
- (株)北都組
- (株)本間組関西支店
- 前田建設工業(株)関西支店
- (株)松村組大阪本店
- 丸磯建設(株)関西支店
- 三井住友建設(株)大阪支店
- みらい建設工業(株)大阪支店
- 村本建設(株)
- 名工建設(株)大阪支店
- (株)森組大阪本店
- (株)森本組大阪支店
- 矢作建設工業(株)大阪支店
- (株)吉田組
- 寄神建設(株)大阪支店
- ライト工業(株)西日本支社
- りんかい日産建設(株)大阪支店
- 若築建設(株)大阪支店

editor's voice
2014.october

編集後記

1984年に創刊された「しびる」も今年で31号を迎えました。その間に建設業界を取り巻く環境も大きく変化し、震災復興や東京五輪関連の需要等の追い風を受けて空前の繁忙期にあると言えます。しかし建設需要の多くが東日本方面に集中していることは否めません。

本号は、そんな中で活力を取り戻しつつある関西の土木力に注目しました。巻頭の対談では、「脱東京」極集中、商都復活」というテーマで関西のインフラ整備の重要性について議論して頂きました。また、最新の土木技術を駆使して建設最盛期にある新名神高速道路工事や国策としての活用が大変重要視されている女性土木技術者にもスポットを当てて紹介しております。本誌が、今後建設業界を目指す方や関西の社会資本整備のあり方を考察するための助になれば幸いです。

最後に、本誌の発刊に際して快く取材に応じて頂いた方々ならびに御協力を賜りました関係各位のご厚意に心より感謝申し上げます。

Present
読者プレゼント

「しびる」について、あなたのご意見、ご感想をお聞かせください。

応募方法

面白かった記事や特集、取り上げてほしい事、これからの建設業に期待したい事、あなたの夢などを官製はがき等にまとめて、下記の送り先までご郵送ください。
**先着30名の方に
ガラスのつめやすりを
差し上げます。**
(長浜・黒壁スクエアのお土産)



送り先

〒540-0031
大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内
(一社)日本建設業連合会 関西支部 プレゼント係



今号の表紙
工事が進む武庫川橋

関西のインフラ整備の中心的存在である「新名神高速道路」。その中でも特に話題を集めている「武庫川橋」(神戸市北区:高さ80m、4基の橋脚)の工事状況を迫力ある写真で表現しました。(2014年6月現在)
(P7レポート・最前線に関連記事を掲載)

TOPICS
関西支部NEWS

●100万人の市民現場見学会レポート

神戸高専の1年生40名が、新名神猪名川東工事現場を見学

6/9

6月9日、兵庫県川辺郡にある新名神高速道路猪名川東工事現場で「市民現場見学会」が開かれた。参加者は神戸市立工業高等専門学校 都市工学科の1年生と引率の教員42名。

NEXCO西日本(株)新名神兵庫事務所でのレクチャー後、バスで猪淵トンネル工事現場へと向かった。最初は緊張した面持ちで説明を聞いていた学生たちも、質問タイムでは「1日に何メートル掘り進むのか」「火薬はどんなふうにするの」と担当者に問いかけるなど、初体験のトンネル工事に興味津々の様子だった。次に向かった広根第一高架橋の現場は、さまざまな重機や高層ビルのようなコンクリートの橋脚群などダイナミックな風景が広がり見るものを圧倒する。学生からは「ふだん体験できない迫力ある現場を身近に見られて感激」「現場で働いている人がカッコよく思えた」「機会があればもっと色々見て回りたい」といった感想が聞かれた。

◆取材協力:西松建設(株) 猪名川東出張所



トンネルと重機を背景に参加者全員による記念撮影



ダイナミックな高架橋作業現場に感嘆

コメント協力してくれた学生たち(左から河合さん、中谷さん、上野さん)

●火薬類対策担当委員会レポート

火薬類を使用する工事現場をパトロール

7/15

日建連では、発破事故と公衆災害の防止を目的として、火薬類を使用する建設現場を対象に管理・運用状況を定期的にパトロールしている。7月15日には新名神箕面トンネル西工事事務所での点検が実施された。

トンネル工事現場では、火薬類取締法など法令の遵守に加え、日建連で独自に設けた自主基準を加えた156項目に基づいて厳しくチェックがなされる。

事務所内で現場所長による火薬取扱い状況の説明を受けた後、トンネル工事現場へ。

「見張所」での発破記録書類やモニターのチェック、「火薬類取扱所」や「火工所」など、火薬を保管・処理を行う場所の点検。そして1日10回にも及ぶ発破を行うトンネル内の発破作業について点検が行われ、安全に作業されていることを確認した。

◆取材協力:鹿島建設(株) 箕面トンネル西工事事務所



箕面トンネル工事現場全景



発破用火薬類の模造見本

火薬類取扱所の点検

点火場所の点検